



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 株式会社アイリッジ 上場取引所 東  
コード番号 3917 URL <https://iridge.jp>  
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）小田 健太郎  
問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO （氏名）森田 亮平 TEL 03-6441-2325  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	5,044	7.9	△35	—	△84	—	△63	—	673	788.0
2025年3月期第3四半期	4,677	21.5	176	—	146	—	140	—	75	—

（注）1. 包括利益 2026年3月期第3四半期 670百万円（743.0％） 2025年3月期第3四半期 79百万円（－％）  
2. 調整後営業利益＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aにより生じた無形固定資産の償却費用＋その他一時費用

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	86.17	85.78
2025年3月期第3四半期	10.07	10.06

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	5,526	3,069	55.2
2025年3月期	5,960	2,572	41.7

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 3,048百万円 2025年3月期 2,483百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	7,200	7.3	300	15.8	270	23.2	260	25.0	800	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) ー、除外 1社 (社名) 株式会社フィノバレー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	7,829,354株	2025年3月期	7,796,454株
2026年3月期3Q	170株	2025年3月期	170株
2026年3月期3Q	7,814,947株	2025年3月期3Q	7,533,130株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(重要な後発事象の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、「Tech Tomorrow 〜テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る〜」をミッションとして掲げ、このミッションの下、アプリビジネス事業、ビジネスプロデュース事業、フィンテック事業の3つの報告セグメントとして、開発力とビジネス創出力という当社グループの強みを活かした様々なサービスを展開しています。アプリビジネス事業では、小売・金融・モビリティ業界を中心とした顧客企業に対して、スマートフォンアプリの企画・開発・運用支援やアプリマーケティングツール

「FANSHIP」やアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」をSaaS型で提供しています。ビジネスプロデュース事業では、顧客企業のパートナーとして事業戦略・DX戦略の立案からサービス開発・グロースハックまでを一気通貫して支援し、顧客企業の新規事業開発やマーケティングに関する課題をワンストップで解決しています。また、フィンテック事業では、主に地方自治体や金融機関に対して、地域で発行・利用可能な通貨や商品券を電子化して流通させるデジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」を提供しています。

当社グループでは、今後の更なる成長とミッションの実現に向け、2027年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画を2024年5月に策定しました。本中期経営計画においては「当社グループの強みである開発力とビジネス創出力を活かした顧客企業のTech & Innovation Partnerへの成長」というテーマを掲げ、5つの成長戦略を掲げています。これらの成長戦略の実行を通じて、当社グループの開発力やビジネス創出力の活用と顧客企業とのパートナーシップの強化による顧客提供価値の向上を図り、事業領域を拡張していくことを目指しています。

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）においては、アプリビジネス事業では、スマートフォンアプリの開発体制の強化及びアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」への投資を継続したほか、前年に実施した複数の資本業務提携に基づく各種施策を推進し、「アプリビジネス事業の継続成長」と「アプリ以外のDX領域への展開」に取り組みました。ビジネスプロデュース事業では、今後の事業拡大を見据えた組織体制の強化を継続しました。

以上の結果、売上高5,044,439千円（前年同期比7.9%増）、調整後営業損失35,509千円（前年同期は調整後営業利益176,768千円）、営業損失84,444千円（前年同期は営業利益146,837千円）、経常損失63,273千円（前年同期は経常利益140,570千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益673,379千円（前年同期比788.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

以下のセグメント別売上高及び利益又は損失には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでいます。

#### (アプリビジネス事業)

アプリビジネス事業では、既存顧客を中心にスマートフォンアプリの開発案件等を堅調に受注しており、また、資本業務提携に基づき、スマートフォンアプリ開発を軸としたデジタルサービスの開発提案活動の強化やEX-DX（注）領域における新たなサービスの開発等の取り組みを進めました。費用面では、スマートフォンアプリの開発体制の強化に伴い原価が増加したことに加え、EX-DX領域におけるソフトウェア償却費等が増加しました。この結果、当セグメントの売上高は3,740,545千円（前年同期比22.6%増）となり、セグメント利益は623,709千円（前年同期比13.5%増）となりました。

#### (ビジネスプロデュース事業)

ビジネスプロデュース事業では、売上高は前年同期とほぼ同水準まで回復しましたが、広告等の利益率の低い案件の割合が上昇し、売上総利益率が低下したほか、今後の事業拡大を見据えた組織体制の強化を継続し、販売費及び一般管理費が増加しました。この結果、当セグメントの売上高は1,218,171千円（前年同期比1.5%減）となり、セグメント利益は35,159千円（前年同期比64.5%減）となりました。

#### (フィンテック事業)

フィンテック事業では、デジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」の既存導入先を中心に取引が拡大しました。費用面では、ソフトウェア償却費や組織体制の拡充に伴い人件費が増加しました。この結果、当セグメントの売上高は91,847千円（前年同期比76.6%減）となり、セグメント損失は27,656千円（前年同期はセグメント利益44,103千円）となりました。

なお、2025年7月1日付で、同事業を構成する当社の連結子会社であった株式会社フィノバレーの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したため、売上高及びセグメント損失は、2025年4月1日から2025年6月30日までの実績となります。

（注）EX-DX（Employee Experience Digital Transformation）とは、従業員が会社で働く中で経験する様々なことに関する課題を、スマートフォンアプリなどのデジタル技術を使って解決し、従業員の満足度を高める取り組みをいいます。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて434,371千円減少の5,526,518千円となりました。これは主に、有価証券が500,000千円増加した一方、現金及び預金が411,745千円減少、売掛金が507,035千円減少、繰延税金資産が117,877千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比べて931,223千円減少の2,457,085千円となりました。これは主に、賞与引当金が104,874千円減少、預り金が675,224千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べて496,852千円増加の3,069,433千円となりました。これは主に、資本剰余金が116,847千円減少した一方、利益剰余金が673,379千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年6月30日の「(開示事項の経過)連結子会社の異動(株式譲渡)に関する株式譲渡契約締結および特別利益の計上見込みならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,738,928	2,327,183
売掛金	1,503,849	996,813
契約資産	157,846	243,870
電子記録債権	275	326
有価証券	—	500,000
仕掛品	17,999	53,022
その他	187,501	203,068
貸倒引当金	△51,000	△52,980
流動資産合計	4,555,400	4,271,304
固定資産		
有形固定資産	35,712	22,135
無形固定資産		
ソフトウェア	958,304	866,827
ソフトウェア仮勘定	—	73,907
その他	99	62
無形固定資産合計	958,404	940,797
投資その他の資産		
投資有価証券	97,988	104,902
繰延税金資産	238,975	121,098
その他	74,409	66,280
投資その他の資産合計	411,372	292,281
固定資産合計	1,405,489	1,255,214
資産合計	5,960,889	5,526,518
負債の部		
流動負債		
買掛金	537,699	452,208
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	260,000	250,000
未払法人税等	84,253	56,378
賞与引当金	272,796	167,922
預り金	689,991	14,767
資産除去債務	1,654	—
その他	254,212	223,632
流動負債合計	2,600,608	1,664,909
固定負債		
長期借入金	747,500	750,000
資産除去債務	40,200	42,176
固定負債合計	787,700	792,176
負債合計	3,388,308	2,457,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,326	1,378,403
資本剰余金	1,538,543	1,421,695
利益剰余金	△424,644	248,735
自己株式	△270	△270
株主資本合計	2,483,954	3,048,563
新株予約権	13,565	20,869
非支配株主持分	75,061	—
純資産合計	2,572,580	3,069,433
負債純資産合計	5,960,889	5,526,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	4,677,258	5,044,439
売上原価	3,150,996	3,564,544
売上総利益	1,526,261	1,479,894
販売費及び一般管理費	1,379,423	1,564,339
営業利益又は営業損失(△)	146,837	△84,444
営業外収益		
受取利息	1,397	1,942
受取配当金	200	—
持分法による投資利益	—	6,914
受取手数料	1,986	10,545
受取保険金	—	13,640
キャッシュバック収入	899	—
助成金収入	1,508	—
その他	271	2,550
営業外収益合計	6,263	35,592
営業外費用		
支払利息	6,890	11,603
株式交付費	5,453	—
為替差損	94	145
和解金	—	2,666
その他	92	5
営業外費用合計	12,530	14,420
経常利益又は経常損失(△)	140,570	△63,273
特別利益		
関係会社株式売却益	—	919,919
特別利益合計	—	919,919
特別損失		
減損損失	—	4,013
固定資産除却損	—	48,508
自己新株予約権消却損	—	8,354
特別損失合計	—	60,877
税金等調整前四半期純利益	140,570	795,769
法人税、住民税及び事業税	27,312	69,381
法人税等調整額	33,586	56,083
法人税等合計	60,899	125,464
四半期純利益	79,671	670,304
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,841	△3,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,829	673,379

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	79,671	670,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△159	—
その他の包括利益合計	△159	—
四半期包括利益	79,511	670,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,670	673,379
非支配株主に係る四半期包括利益	3,841	△3,074



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アプリ ビジネス事業	ビジネス プロデュース 事業	フィンテック 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,048,276	1,236,465	392,515	4,677,258	—	4,677,258
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,160	—	—	2,160	△2,160	—
計	3,050,436	1,236,465	392,515	4,679,418	△2,160	4,677,258
セグメント利益	549,558	99,098	44,103	692,760	△545,922	146,837

(注) 1. セグメント利益の調整額のうち、14,408千円はセグメント間取引消去、△560,330千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アプリ ビジネス事業	ビジネス プロデュース 事業	フィンテック 事業 (注) 3	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,739,234	1,213,358	91,847	5,044,439	—	5,044,439
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,311	4,813	—	6,125	△6,125	—
計	3,740,545	1,218,171	91,847	5,050,565	△6,125	5,044,439
セグメント利益又は セグメント損失(△)	623,709	35,159	△27,656	631,212	△715,657	△84,444

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額のうち、5,272千円はセグメント間取引消去、△720,929千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

3. 「フィンテック事業」については、2025年7月1日付で、同事業を構成する当社の連結子会社であった株式会社フィノバレーの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したため、売上高及びセグメント損失は、2025年4月1日から2025年6月30日までの実績となります。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社フィノバレーの全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しています。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、「フィンテック事業」において1,357,991千円減少しています。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	234,442千円	293,815千円
のれんの償却額	13,275	—

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。